

和歌山市結婚新生活支援事業

●自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

<地域における実情と課題>

令和 3 年度結婚新生活支援事業補助金申請時のアンケートでは、結婚にあたって不安があったと答えた方が 9 割以上いた。

また、本市の婚姻件数は過去 5 年間、2,000 件を下回っており、令和 2 年の婚姻率は 4.5 と 2000 年代以降、小刻みに増減を繰り返しながらも減少傾向が続いており、早期に対策を講じる必要がある。

そこで「第 2 期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「子供たちがいきいきと育つまち（安心して子育てができる環境の整備）」を実現するため、結婚希望者を対象に、出会いの場の設定や情報提供等の応援活動に取り組み、また結婚に踏み出す一助として、経済的支援を実施し、結婚から子育てにつなげる事業を推進しているが、引き続き「結婚の支援」を促進する仕組みに取り組むことが必要だと考えられる。

<本個別事業の位置付け>

本市では、平成 29 年度には「第 5 次和歌山市長期総合計画」を策定し、将来都市像を「きらり輝く 元気和歌山市」と定め、実現のため 4 つの分野別目標を示している。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」を実現するための施策として、安心して子供を産み育てることのできる環境の整備に取り組んでいる。「和歌山市結婚新生活支援事業」は、その取組として重要な事業である。

また、令和 2 年 3 月に「第 2 期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけ、将来に向かって活力ある和歌山市を維持するため 4 つの基本目標を掲げている。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」の基本施策として、

1. 家庭や地域で取り組む子育て環境づくり
2. 子供が健やかに育つことのできる環境づくり
3. 保護・援助を必要とする子供への支援
4. 結婚から子育てにつなげる社会づくり

「和歌山市結婚新生活支援事業」について、上記基本施策の 4 に位置付けられている。